

## 平成27年第3回玄海町議会定例会会議録

招 集 年 月 日	平成27年9月7日（月曜日）					
招 集 場 所	玄 海 町 議 会 議 場					
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開 会	平成27年9月7日午前9時00分			議 長	上 田 利 治 君
	散 会	平成27年9月7日午前10時00分			議 長	上 田 利 治 君
応（不応）招議 員及び出席並び に欠席議員	議席 番号	氏 名	出 席 等の別	議席 番号	氏 名	出 席 等の別
	1	井 上 正 旦 君	○	2	山 口 定 君	○
○ 出 席	3	脇 山 奉 文 君	○	4	池 田 道 夫 君	○
× 欠 席	5	脇 山 伸 太 郎 君	○	6	友 田 国 弘 君	○
× 不応招	7	中 山 昭 和 君	○	8	古 舘 義 純 君	○
出 席 11名	9	欠 番		10	岩 下 孝 嗣 君	○
欠 席 0名	11	藤 浦 皓 君	○	12	上 田 利 治 君	○
会議録署名議員	11 番	藤 浦 皓 君		10 番	岩 下 孝 嗣 君	
地方自治法第 121条第1項に より説明のため 出席した者の職 氏名	町 長	岸 本 英 雄 君		副 町 長	鬼 木 茂 信 君	
	教 育 長	小 柳 勉 君		会 計 管 理 者	小 山 康 人 君	
	管 理 統 括 監	西 立 也 君		政 策 統 括 監	池 田 正 彦 君	
	総 務 課 長	綾 部 保 基 君		財 政 企 画 課 長	杉 谷 裕 子 君	
	税 務 課 長	青 木 敏 治 君		住 民 福 祉 課 長	中 山 昇 洋 君	
	保 健 介 護 課 長	寺 田 美 由 妃 君		産 業 振 興 課 長	山 口 清 二 君	
	ま ち づ くり 課 長	松 本 恵 一 君		生 活 環 境 課 長	脇 山 典 久 君	
	教 育 課 長	井 上 新 吾 君				
職務のために議 場に出席した者 の氏名	事 務 局 長	中 村 大 輔		議 会 事 務 局 係 長	熊 本 秀 樹	

## 平成27年第3回玄海町議会定例会議事日程（第1号）

平成27年9月7日 午前9時開会

- 日程1 会議録署名議員の指名について
- 日程2 会期の決定について
- 日程3 議長の諸報告
- 日程4 町長の行政報告
- 日程5 議案第67号 玄海町教育委員会委員の任命について
- 日程6 議案第68号 動産の買入れについて
- 日程7 議案第69号 玄海町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第70号 玄海町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第71号 玄海町職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定  
について  
議案第72号 平成27年度玄海町一般会計補正予算（第4号）  
議案第73号 平成27年度玄海町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）  
議案第74号 平成27年度玄海町介護保険特別会計補正予算（第2号）  
議案第75号 平成27年度玄海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 日程8 議案第76号 平成26年度玄海町一般会計歳入歳出決算の認定について  
議案第77号 平成26年度玄海町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定に  
ついて  
議案第78号 平成26年度玄海町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第79号 平成26年度玄海町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定につ  
いて  
議案第80号 平成26年度玄海町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定  
について  
議案第81号 平成26年度玄海町水道事業特別会計剰余金の処分及び決算の認  
定について
-

## 午前9時 開会

### ○議長（上田利治君）

おはようございます。ただいまの出席議員は11名であります。定足数に達しておりますので、これより平成27年第3回玄海町議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本定例会に執行部から議案が送付されておりますので、職員に朗読させます。

### ○議会事務局長（中村大輔君）

〔朗読省略〕

### ○議長（上田利治君）

本日の議事日程につきましては、あらかじめお手元に配付しております議事日程表によって、御了承方お願いいたします。

#### 日程1 会議録署名議員の指名について

### ○議長（上田利治君）

日程1. 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第108条の規定により、11番藤浦皓君、10番岩下孝嗣君を指名いたします。

#### 日程2 会期の決定について

### ○議長（上田利治君）

日程2. 会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日9月7日から18日までの12日間とし、本会議を7日、10日及び18日の3日間、委員会を11日及び14日から17日までの5日間、休会を8日から9日及び12日から13日の4日間といたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

### ○議長（上田利治君）

御異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は、本日9月7日から18日までの12日間とすることに決定いたしました。

#### 日程3 議長の諸報告

### ○議長（上田利治君）

日程 3. 議長の諸報告を行います。

地方自治法第235条の2第3項の規定による監査委員からの例月現金出納検査の報告と、本年6月から8月までの玄海原子力発電所の運転状況等の報告につきましては、お手元に配付しております書類により御了承方お願いいたします。

6月26日に第9回唐津農業協同組合通常総代会が開催され、友田産業建設常任委員長及び岸本町長と出席いたしました。

総代会の詳細につきましては、後ほど町長から報告があると思いますので、省略いたします。

次に、7月6日に全国原子力発電所立地市町村議会議長会役員会及び平成27年度定期総会が東京都で開催され、出席いたしました。

総会の付議案件として、平成26年度事業報告及び収入支出決算並びに平成27年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）が提案され、全て原案どおり決定されました。

また、役員改選も行われ、会長に柏崎市議会の齋木議長、副会長に女川町議会の木村議長、東海村議会の鈴木議長、御前崎市議会の西島議長、伊方町議会の吉谷議長及び薩摩川内市の上野議長、理事に泊村議会の結城議長、刈羽村議会の横田議長、敦賀市議会の有馬議長、松江市議会の山本議長及び私、玄海町議会の上田、監事に東海村議会の丹内議長及び美浜町議会の藤本議長、以上のように決定されました。

なお、総会終了後に経済産業省資源エネルギー庁と「2030年のエネルギーミックスについて」と題し、意見交換を行ったところでございます。

次に、8月10日に、平成27年度知事・市町議会議長懇話会が開催され出席いたしました。

懇話会は、山口知事の挨拶で始まり、各市町の議長により行政課題と今後の施策、要望等がなされ、知事及び県の幹部と意見交換が行われたところでございます。

次に、8月28日に、佐賀県町村議会議長会の議長会議が開催され、出席いたしました。

会議では、平成26年度決算について審議され、全て原案どおり決定されました。

また、会議終了後、引き続き臨時総会が開催され、新役員の選出が行われ、新会長に有田町議会の松尾議長、新副会長に基山町議会の鳥飼議長、新監事にみやき町議会の平野議長が選任されました。

以上をもちまして、議長の諸報告を終わります。

#### 日程 4 町長の行政報告

○議長（上田利治君）

日程４．町長の行政報告を求めます。岸本町長。

○町長（岸本英雄君）

おはようございます。本日は、平成27年第3回玄海町議会定例会を招集しましたところ、議員の皆様には大変御多忙の中に御出席をいただきまして、まことにありがとうございます。

行政報告に入る前に、大変個人的なことでありますけれども、私自身が8月8日から出血性膀胱炎という病気で、20日間ほど入院をさせていただきました。この間、業務についておりませんので、大変職員にも、皆さん方にも御迷惑をかけたなというふうに十分に自分の健康ながら反省をいたしているところです。その点については御了解をいただきますよう、よろしくお願いを申し上げます。

それでは、6月定例会以降、今日までの主なものについて行政報告を申し上げます。

まず、6月26日に唐津市において、唐津農業協同組合通常総代会が開催され、上田議長及び友田産業建設常任委員長とともに出席をいたしました。

総代会では、決算報告に続き、平成26年度事業実績の報告及び余剰金処分の承認、平成27年度事業計画の設定及び関連事業の承認ほか、全10件の議案について審議が行われ、全て原案どおり承認されたところでございます。

議案の一つとしましては、平成26年度に策定された第三次総合3カ年計画、いわゆるマスタープラン見直しの審議がなされました。これは積立金について経営課題処理を実施したことによって、平成27年度以降の事業計画の見直しが必要となったことに起因するものであったとのでした。

見直されたマスタープランについては、平成26年度から28年度までの3カ年でJAグループが目指すべき姿の実現に向けての計画であり、3つの基本戦略に加え、地域に即した経営基盤づくりと地域理解の醸成に向けた広報活動や運動展開を支えにして、次代へつなぐ協同として展開していくとされたものでございます。

最後に、組合、役員、職員の3つの力を集結し、将来に託せる農業、農協を目指すとの決議がなされました。

次に、6月29日に佐賀市で町長例会が開催をされ、出席をいたしました。会議では、まず、佐賀大学が中心となり実施する「地（知）拠点大学による地方創生推進事業」についての説明がなされ、地元就職率の向上及び雇用の創出に係る目標達成のために、県内大学、佐賀県、

市長会及び全市町が協定を締結し、事業に参画していくことについての協議がなされました。

その他、町長行政視察、各種審議会役員の推薦、全議員研修会と合同開催予定の特別研修会、GM21ミーティング、国保広域化等連携会議などについての協議が行われたところがございます。

次に、7月4日に九州大学伊都キャンパスで、第7回甘草に関するシンポジウムが開催され、出席をいたしました。

このシンポジウムは、九州大学伊都キャンパス総合学習プラザ、大講義室及びウェスト二号館を会場とし、14の学術シンポジウムと薬草を軸とした地域振興をテーマに意見交換会が開催されたものであります。

九州では、初の開催であり、国内における多方面の分野の甘草研究者が集結をし、現時点における最先端の研究成果が披露されました。

世界的に見ましても、多くの天然薬用資源は、野生品の採集の時代から優良品種の栽培、収穫の時代に移行しており、甘草はその象徴的存在であります。

半砂漠地帯に自生する甘草が、地表近くに水分の多い日本では、継続的な栽培は不可能と言われた時代から、ここ十数年で優良品種が選抜、栽培され、ロット管理された良質甘草が生産される可能性が見え始めております。

シンポジウムでは、玄海町薬用植物栽培研究所にて研究に携わっていただいている正山先生による講演も行われ、モンゴル産ウラルカンゾウのグリチルリチン含量に着目した栽培についての研究成果が報告されました。

また、大阪薬科大学芝野教授をコーディネーターとして意見交換会が行われ、私がパネリストとして「玄海町におけるカンゾウ栽培」について意見発表をいたしました。

次に、7月14日に佐賀市で佐賀県国保連合会通常総会が開催をされ、出席をいたしました。

総会では、平成26年度事業実績の認定、会計別決算、財産の認定、会計別差し引き残額の処分、規約等の一部改正及び平成27年度の会計別補正予算など、計24件の議案について審議が行われ、全て原案どおり承認されたところがございます。

次に、同日、唐津市で九州地方電源地域連絡協議会が開催をされ、出席をいたしました。

まず、総会では、平成26年度事業報告及び決算、平成27年度事業計画及び会計別決算、以上4件の議案について審議が行われ、全て原案どおり承認されました。

続いて、唐津市離島地域コーディネーターの小峰朋子さんにより「唐津の七つの島の島お

こし」と題した記念講演が行われました。小峰さんは、環境に配慮したまちづくりを学ぶため、ドイツに留学、大阪府庁を退職後、地域おこし協力隊として唐津で離島が元気になる取り組みをされています。玄海町に離島はございませんが、外部の人材を活用し、地域の中に新たな発見や交流を生み出すことは、すごく魅力のある取り組みとして参考にさせていただきたいと感じたところでございます。

次に、7月22日に佐賀市で、佐賀県総合事務組合議会臨時会が開催され、出席をいたしました。

臨時会では、組合議長、副議長、監査委員、管理者の選挙が行われ、議長に谷口嬉野市長、副議長に末次太良町議会議長、監査委員に鳥飼基山町議会議長並びに小森基山町長、管理者に末安みやき町長、以上が選出されました。

次に、同日、唐津市で唐津救急医療センター運営委員会が開催をされ、出席をいたしました。

会議では、平成26年度事業報告に続き、平成26年度収支決算、平成26年度病院群輪番制事業収支決算の2議案について審議が行われ、原案どおり承認されました。

次に、7月23日に町内において、有浦施設園芸部会通常総会及び上場地区いちご部会総会が開催され、出席いたしました。

総会では、平成26年度の事業報告及び収支決算報告、平成27年度の事業計画案及び収支予算案、会費負担金の徴収について、以上3件の議案について審議が行われ、全て原案どおり承認されたところでございます。

平成26年度産イチゴについては、前年を上回る実績を上げたものの、暖候期に中過熟等のクレームが増加、4月以降の数量減が生じたこともあり、年間を通じた生産面と品質面を大きく考えさせられる1年だったとの報告があり、今年度は健苗育成を最重視し、適期定植、適期管理、適期作業を心がけ、増産に努め、さらに暖候期の品位対策を講じ、高品質生産を目標に生産技術の高位平準化に努める。また、省エネ対策や長寿命化対策を講じ生産効率の向上を目指すとの目標が掲げられました。

最後に、7月30日に町内において、上場地区稲作経営振興大会が開催され出席をいたしました。

米の消費量は毎年減少し、昭和40年に1人当たり年間112キロを消費していたのに対し、50年経過した現在では、1人当たり年間57キロと約半分まで落ち込んでいることにより、



○議長（上田利治君）

これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

以上をもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。本件は人事案件ですので、討論を省略して採決したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

御異議なしと認めます。よって、討論を省略して直ちに採決いたします。

議案第67号 玄海町教育委員会委員の任命については、原案のとおり同意することに賛成諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（上田利治君）

起立全員と認めます。よって、本件は原案のとおり同意することに決定いたしました。

#### 日程6 議案第68号 動産の買入れについて

○議長（上田利治君）

日程6. 議案第68号 動産の買入れについてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。岸本町長。

○町長（岸本英雄君）

議案第68号 動産の買入れにつきまして、提案理由の説明を申し上げます。

動産を買入れすることについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

買入れ物件といたしましては、小型動力ポンプ付積載車2台及び附属品一式でございます。

契約の相手方といたしましては、佐賀県唐津市船宮町2302番地、有限会社唐津興機、代表取締役徳永保弘氏でございます。

買入れ価格は、10,584千円でございます。

予定価格に対する落札率は、89.64%でございます。

納入期限は平成28年2月29日でございます。

なお、今回、一般競争入札を行いまして、応札業者は2業者でございます。2業者を申し上げておきたいと思えます。

1者目は、西部消防株式会社、2者目は、有限会社唐津興機、以上2業者でございます。

提案理由でございますが、現在所有しております消防用小型動力ポンプつきの積載車のうち、新田地区と湯野尾地区の分は、平成11年度に更新を行ってから16年が経過をし、耐用年数の15年を経過したことから、今回、平成27年度電源立地地域対策交付金事業により更新するものでございます。

どうか御審議の上、原案どおりの御決定をよろしくお願いいたします。

**○議長（上田利治君）**

これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○議長（上田利治君）**

以上をもって質疑を集結いたします。

これより討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○議長（上田利治君）**

以上をもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。議案第68号 動産の買い入れについては、原案のとおり決するに賛成諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

**○議長（上田利治君）**

起立全員と認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

日程7 議案第69号 玄海町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

議案第70号 玄海町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

議案第71号 玄海町職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第72号 平成27年度玄海町一般会計補正予算（第4号）

議案第73号 平成27年度玄海町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

議案第74号 平成27年度玄海町介護保険特別会計補正予算（第2号）

議案第75号 平成27年度玄海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

○議長（上田利治君）

日程7. 議案第69号 玄海町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定についてから、議案第75号 平成27年度玄海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）までの以上7件を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。岸本町長。

○町長（岸本英雄君）

それでは、議案番号順に提案理由を申し上げていきたいと思っております。

まず、議案第69号 玄海町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定につきましては、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆる番号法が平成27年10月5日から施行されることに伴いまして、町が保有する特定個人情報の適正な取り扱いを確保するための措置及び番号法との整合を図るための規定を整備することが必要であることから、本条例も所要の改正をしようとするものでございます。

次に、議案第70号 玄海町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定につきましては、前議案同様に、番号法が平成27年10月5日から施行されることに伴いまして、通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を定めるとともに、住民基本台帳法の改正に伴い、住民基本台帳カードの交付手数料及び再交付手数料を廃止する必要があることから、本条例も所要の改正をしようとするものでございます。

次に、議案第71号 玄海町職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律が平成27年10月1日に施行されることに伴いまして、特定警察職員等の定義を定める根拠となる法律が、地方公務員等共済組合法から厚生年金保険法に改められるため、本条例も所要の改正をしようとするものでございます。

次に、補正予算でございますが、議案第72号 平成27年度玄海町一般会計補正予算（第4

号)は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ106,517千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を8,373,316千円とするものでございます。

歳入補正予算の主なものといたしましては、11款分担金及び負担金、1項分担金、2目災害復旧費分担金の176千円の増額は、農業用施設等の復旧事業に対する受益者からの分担金の増額でございます。

次に、13款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金、電源立地地域対策交付金254,600千円の増額は、電源立地地域対策交付金上期申請に基づき、財源補正をするもので、主なものとしましては、小・中学校整備事業に257,800千円充当をしております。

同じく、1目総務費国庫補助金、社会保障・税番号制度システム整備費補助金2,161千円の減額は、個人番号カード事務委任に係る交付金について、個人番号カード交付金事業費補助金2,160千円と個人番号カード交付事務費補助金195千円に分けて、国から交付されることとなったため、減額補正をし、新たな費目で予算計上するものでございます。

次に、14款県支出金、2項県補助金、2目民生費県補助金の高齢者福祉施設災害時避難車両整備事業費補助金3,845千円の増額は、災害発生時、特別養護老人ホーム玄海園の入居者を迅速に避難させることができるよう配備する、災害時避難車両に係る県費補助金を予算計上するものでございます。

次に、17款繰入金、2項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金66,275千円の減額、同じく2目公共施設整備基金繰入金264,400千円の減額は、今回の補正財源の調整によりまして減額し、財源を補正するものでございます。

次に、18款繰越金、1項繰越金、1目繰越金の123,614千円の増額は、前年度の繰越金でございます。

続いて、歳出補正予算の主なものとしましては、2款総務費、1項総務管理費、6目基金管理費、財政調整基金積立金89,445千円の増額は、決算剰余金を積み立てるものでございます。

次に、3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、福祉施設整備事業7,174千円の増額、これは玄海町福祉施設整備に伴い、整備予定地が1万平米以上となるため、開発許可申請が必要となることから、敷地の測量設計業務委託を行い、開発許可申請を行うため、委託料と開発許可申請手数料を予算措置するものでございます。

同じく、3目老人福祉事業費3,952千円の増額は、歳入でも御説明いたしました特別養護

老人ホーム玄海園の災害時避難車両整備に係る経費を予算措置するものでございます。

同じく、7目パレア管理費6,961千円の増額の主なものとしましては、パレアオープン当初より使用していた施設内のソファ及びベンチが11年経過をし、劣化していることから、修理や新たに購入して対応するため、予算措置するものでございます。

次に、7款商工費、1項商工費、3目観光費1,693千円の増額は、今年度も東京で開催を予定している玄海町フェアに係る経費を予算措置するもので、ふるさと応援寄附金基金繰入金を事業に係る財源としております。

次に、10款教育費、3項中学校費、1目学校管理費5,616千円の増額は、玄海町ICT利活用教育推進基金繰入金を財源として、電子黒板4台を購入し、みらい学園の全学級に電子黒板を配備するものでございます。

同じく、4項社会教育費、1目社会教育総務費4,690千円の減額は、8月に予定をしていた玄海町少年の船が、韓国におけるMARS発生に伴い中止となったことから、事業に係る予算を減額するものでございます。

次に、11款災害復旧費、1項農林水産施設災害復旧費、1目農地農業用施設災害復旧費の1,184千円の増額は、6月30日から7月1日の梅雨前線豪雨により、農地の一部が被災したため、復旧に係る事業費を予算措置するものでございます。

次に、議案第73号 平成27年度玄海町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ55,621千円を追加し、補正後の総額を1,174,621千円とするものでございます。

歳入補正予算は、特定健康診査等国庫負担金の過年度精算交付金213千円、前年度繰越金55,408千円の増額を行ったものでございます。

歳出補正予算は、国庫負担金返還金17,253千円、一般会計繰出金38,368千円の増額を行ったものでございます。

次に、議案第74号 平成27年度玄海町介護保険特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ24,363千円を追加し、補正後の総額を624,363千円とするものでございます。

歳入補正予算は、過年度分介護給付費交付金753千円、前年度繰越金23,610千円の増額を行ったものでございます。

歳出補正予算は、介護給付費準備基金積立金8,284千円、国庫負担金返還金6,253千円、県

費負担金返還金3,198千円、県費補助金返還金62千円、一般会計繰出金6,566千円の増額を行ったものでございます。

次に、議案第75号 平成27年度玄海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,296千円を追加し、補正後の総額を74,296千円とするものでございます。

歳入補正予算は、保険料還付金228千円、前年度繰越金1,068千円の増額を行ったものでございます。

歳出補正予算は、一般会計繰出金1,296千円を増額したものでございます。

以上、今定例会に提出しております各議案について提案理由を申し上げましたが、どうか御審議の上、原案どおりの御決定をいただきますようお願い申し上げます。

**○議長（上田利治君）**

ここでお諮りいたします。本件につきましては、予算特別委員会に付託して審議したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

**○議長（上田利治君）**

御異議なしと認めます。よって、議案第69号 玄海町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定についてから、議案第75号 平成27年度玄海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）までの以上7件については、予算特別委員会に付託して審議することに決定いたしました。

- 日程 8 議案第76号 平成26年度玄海町一般会計歳入歳出決算の認定について  
議案第77号 平成26年度玄海町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第78号 平成26年度玄海町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第79号 平成26年度玄海町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第80号 平成26年度玄海町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について  
議案第81号 平成26年度玄海町水道事業特別会計剰余金の処分及び決

## 算の認定について

### ○議長（上田利治君）

日程 8. 議案第76号 平成26年度玄海町一般会計歳入歳出決算の認定についてから議案第81号 平成26年度玄海町水道事業特別会計剰余金の処分及び決算の認定についての以上6件を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。岸本町長。

### ○町長（岸本英雄君）

議案第76号から議案第81号までの平成26年度の各会計の決算につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

平成26年度の玄海町一般会計及び各特別会計の決算について、議会の認定をいただきたく、監査委員の意見書をつけて御提案をいたしております。

まず、議案第76号、一般会計の決算でございますが、歳入決算額は12,920,431,098円で、予算現額に対して132,018,902円の減、調定額12,972,619,250円に対する収入率は99.6%でございます。歳出決算額は12,725,137,670円で、予算現額13,052,450千円に対する執行率は97.5%でございます。翌年度繰越額が36,180千円、不用額が291,132,330円となっております。この結果、歳入歳出差し引き残額は195,293,428円となりまして、翌年度への繰り越し財源を差し引いた実質収支額は178,889,428円でございます。

次に、議案第77号、国民健康保険特別会計の決算でございますが、歳入決算額は1,027,385,705円で、予算現額に対して5,228,705円の増、調定額1,050,269,228円に対する収入率は97.8%でございます。歳出決算額は971,976,029円で、予算現額1,022,157千円に対する執行率は95.1%で、歳入歳出差し引き残額は55,409,676円でございます。

次に、議案第78号、介護保険特別会計の決算でございますが、歳入決算額は573,640,251円で、予算現額に対して607,749円の減、調定額574,179,763円に対する収入率は、99.9%でございます。歳出決算額は550,029,618円で、予算現額574,248千円に対する執行率は95.8%で、歳入歳出差し引き残額は23,610,633円でございます。

次に、議案第79号、下水道事業特別会計の決算でございますが、歳入決算額は238,014,159円で、予算現額に対して5,755,841円の減、調定額242,511,900円に対する収入率は98.1%でございます。歳出決算額は238,014,159円で、予算現額243,770千円に対する執行率は97.6%で、歳入歳出差し引き残額はゼロ円でございます。

次に、議案第80号、後期高齢者医療特別会計の決算でございますが、歳入決算額は73,016,541円で、予算現額に対して120,459円の減、調定額73,016,541円に対する収入率は100%でございます。歳出決算額は71,948,606円で、予算現額73,137千円に対する執行率は98.4%で、歳入歳出差し引き残額は1,067,935円でございます。

最後に、議案第81号、水道事業特別会計剰余金の処分及び決算でございますが、まず、収益的収入の収入決算額が376,867,315円、収益的支出決算額が371,986,484円となっております。

損益計算書につきましては、収益369,537,369円、費用364,656,538円となり、4,880,831円の純利益となりました。

資本的収入及び支出でございますが、収入決算額が27,693,360円、支出決算額が99,157,122円となっており、収支差し引き71,463,762円の不足となり、当年度損益勘定留保資金を66,582,931円及び当年度利益剰余金処分量4,880,831円をもって補填をいたしております。

平成26年度決算において生じた利益剰余金4,880,831円のうち、全額を資本的に積み立て、あわせて決算の認定を受けることについて、地方公営企業法第32条第2項及び同法第30条第4項の規定に基づき、議会の議決を求めるものでございます。

以上、平成26年度の各会計の決算につきまして概要を申し上げます。

それから、平成26年度玄海町健全化判断比率及び資金不足比率につきましても、監査委員の意見書をつけて報告をいたしております。

また、意見書の中で監査委員さんからさまざまな御指摘をいただいていることにつきましては、十分に反省をし、今後、予算の適正な編成と執行管理に努めていきたいと考えております。

どうか御審議の上、認定をいただきますようよろしくお願いをいたします。

#### ○議長（上田利治君）

本件につきましては、監査委員の意見をつけて議会の認定に付されておりますので、議会選出の監査委員として選任されております友田国弘議員に決算審査の報告をいただきたいと思います。6番友田国弘君。

#### ○6番（友田国弘君）

決算審査の御報告をいたします。

平成26年度玄海町一般会計及び各特別会計決算並びに水道事業特別会計決算の審査につき

ましては、去る7月13日から7月31日までの期間、実施いたしましたところ、審査に付された一般会計及び各特別会計並びに水道事業特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書につきましては、それぞれの関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、法令に準拠して作成されており、計数に誤りはなく正確であることを認めます。

平成26年度の一般会計予算は、歳入では昨年と同様に町税、国・県支出金、基金繰入金を主な財源とした編成がなされておりますが、平成26年度においては、ふるさと応援寄附金がそれらに次ぐ財源となっており、今後も寄附増大に努められ、本財源を生かした魅力あるまちづくりの施策に期待しております。

地方自治体の財源のもととなる町税の滞納は、町財政運営の根幹を揺るがすものであり、重大な問題でありますので、今後とも、収入を確保し、負担の公平性を維持するため、収入未済額及び不納欠損額の縮減に努められるよう望むものであります。

歳出につきましては、ふるさと応援寄附金事業や福祉施設の放射線防護対策事業、防災行政無線整備事業、小中学校整備事業費等がふえており、前年度と比較して約5,496,000千円の増額となっております。

次に、国民健康保険特別会計につきましては、歳入では前年度と比較して約41,400千円増加しており、歳出でも前年度と比較して約13,900千円増加しております。

歳入の国民健康保険税についても、町税と同様、滞納がありますが、この国民健康保険税は本会計財源の根幹でありますので、町税と同様に収入未済額及び不納欠損額の縮減に努められるよう望むものであります。

次に、介護保険特別会計につきましては、歳入では前年度と比較して約21,500千円増加しており、歳出でも、前年度と比較して約17,800千円増加しております。

第1号被保険者保険料につきましても、滞納が発生しておりますので、町税と同様に収入未済額及び不納欠損額の縮減に努められるよう望むものであります。

次に、下水道事業特別会計につきましては、歳入では、前年度と比較して約1,900千円減少しており、また、歳出におきましても、歳入と同額の約1,900千円の減少となっております。

今後も住民の生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与するため、接続率の向上に特段の努力を望むものであります。

次に、後期高齢者医療特別会計につきましては、歳入では、前年度と比較して約1,600千円増加しており、歳出でも前年度と比較して約1,640千円増加しております。

最後に、水道事業特別会計につきましては、これまで多額の資本が投入され、施設も普及率と有収率の向上を目標に逐次整備改善されておりますが、公営企業運営という基本理念のもとに、さらに経費の節減、合理化に努めるとともに、町民の生活用水を確保し、環境整備の向上を図るため、本事業が健全で、かつ効率的に運営されるよう望むものであります。

なお、事務の執行について一部業務が滞り執行できなかったものが見られました。住民サービスの低下につながり、町民に不利益を与えることになるので、今後は適正な業務計画を立てられ、着実な執行に努められるよう望むものであります。

以上、簡単に会計別に申し上げましたが、平成26年度は支払い遅延や会計処理事務も改善され、おおむね適正に処理されており、大きな問題点、指摘点はありませんでした。これは庁内のチェック体制の強化や職員研修などの効果によるものと思われまますので、今後もさらに職員研修等を行い、事務処理能力を向上させ、財務規則にのっとり適正な会計事務が行われるよう望むものであります。

最後になりますが、『輝く<sup>あした</sup>未来「協働と共創のまち」玄海町』を推進するため、引き続き事業の効率化や必要性、優先順位についての的確な選択を行うとともに、行政情報の公開や町民への説明責任の向上を図りながら、町民の理解と協力を得て、町民福祉の増進に結びつく諸政策を推進されることを期待するものであります。

なお、詳しいことにつきましては、お手元の審査意見書により、御了承方お願いいたします。

以上で決算審査の報告を終わります。

#### ○議長（上田利治君）

ここでお諮りいたします。本件につきましては、決算特別委員会に付託して審議したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

#### ○議長（上田利治君）

御異議なしと認めます。よって、議案第76号 平成26年度玄海町一般会計歳入歳出決算の認定についてから、議案第81号 平成26年度玄海町水道事業特別会計剰余金の処分及び決算の認定についてまでの以上6件については、決算特別委員会に付託して審議することに決定

いたしました。

以上をもって、本日の議事日程は全部終了いたしました。よって、本日の会議はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午前10時 散会